



東国分中だより

令和7年5月12日

NO.3

学校 HP

学校教育目標 「夢や希望を抱き、生きる力を持った生徒の育成」
～知・徳・体の調和のとれた生徒～
<https://ichikawa-school.ed.jp/ekokubun-chu/>

東国分爽風学園
市川市立東国分中学校
校長 植木 昭貴



あいさつの力



学校では挨拶から一日が始まります。

私も可能な日は校門に立ちますが、元気に挨拶を返してくれる生徒や自ら挨拶してくれる生徒が多く、朝は私にとって気持ちの良いひと時となっています。その様子から、本校には毎朝明るくお子さんを送り出しているご家庭や人との関わりを大切にされているご家庭が多いのだろうと感じています。



よく「挨拶は魔法の言葉」と言われますが、私自身もそう感じることが本当に多くあります。何気なく交わしている挨拶の言葉ですが、知らない人や疎遠であった人であれば「おはよう」や「こんにちは」の一言を交わすだけで心が通い合えるような気持ちになったり、親しい間柄であっても「ありがとう」や「ごめんなさい」の一言で節度や良好な関係が保てたりすることもあります。また、挨拶を交わすこと自体に寛容な心や自己肯定感の高まりを感じさせる力があると感じています。

世の中は「多様性の社会」といわれる一方、「人間関係の希薄化」が進んでおり、関係の範囲が「集団（組織）全体」から「気の許しあえる特定の人（仲間）」といった考え方が浸透してきているといわれています。さらに「情報化社会」が進む中で、画面越しや顔の見えない相手との一方通行的な関わりが増え、コミュニケーション不足が原因の誤解やトラブルも少なくありません。

学校は、人との関わりの中で学び成長していく場であり、

その第一歩となる挨拶はとても大切な習慣と考えています。



もちろん挨拶は強制されて行うものではありません。私たちはイライラしていたり気持ちが落ち込んでいたりする時、自信がない時など、心がネガティブな時はなかなか積極的に挨拶できないものです。

「挨拶は心のバロメーター。」中には挨拶がちょっと苦手という人もいるでしょう。そんな人は少しだけ勇気を出して自分から声をかけてみると、ちょっとだけ気分が明るくなったり自信がついたりすると思います。そして、挨拶が交し合える環境にしていくことで、皆が居心地よく過ごせる場となり、「気遣い」や「心遣い」のあふれる環境になっていくと思います。

学校ホームページ

学校ホームページに生徒や学校の様子を随時アップしています。週2回を目標に更新していきます。上の二次元コードから入れますので時間のある時にぜひご覧ください。